

高岡市中心市街地活性化基本計画の概要

— 400年の資産を守り、育み、繋ぐ —

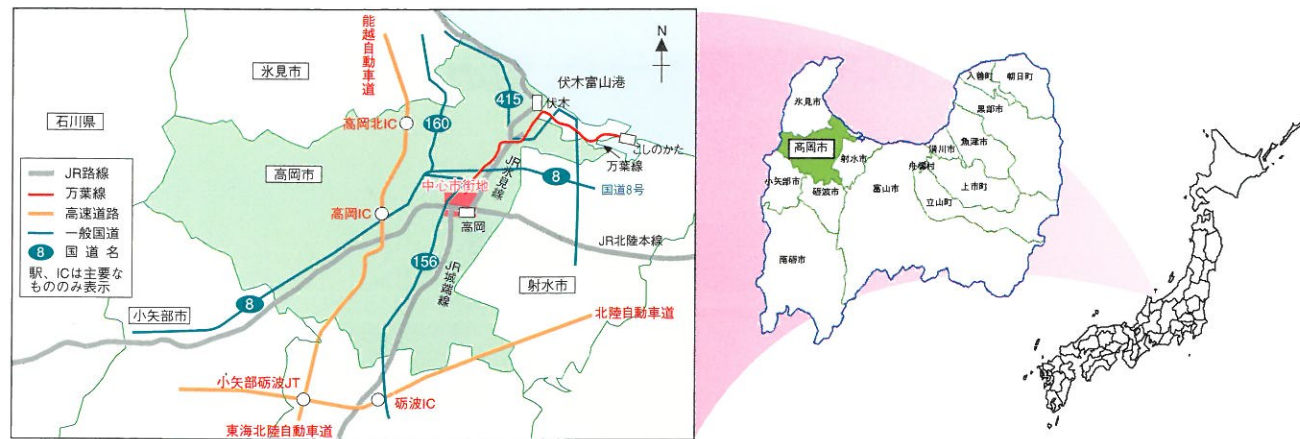


平成19年11月

高岡市

中心市街地の 現状と課題

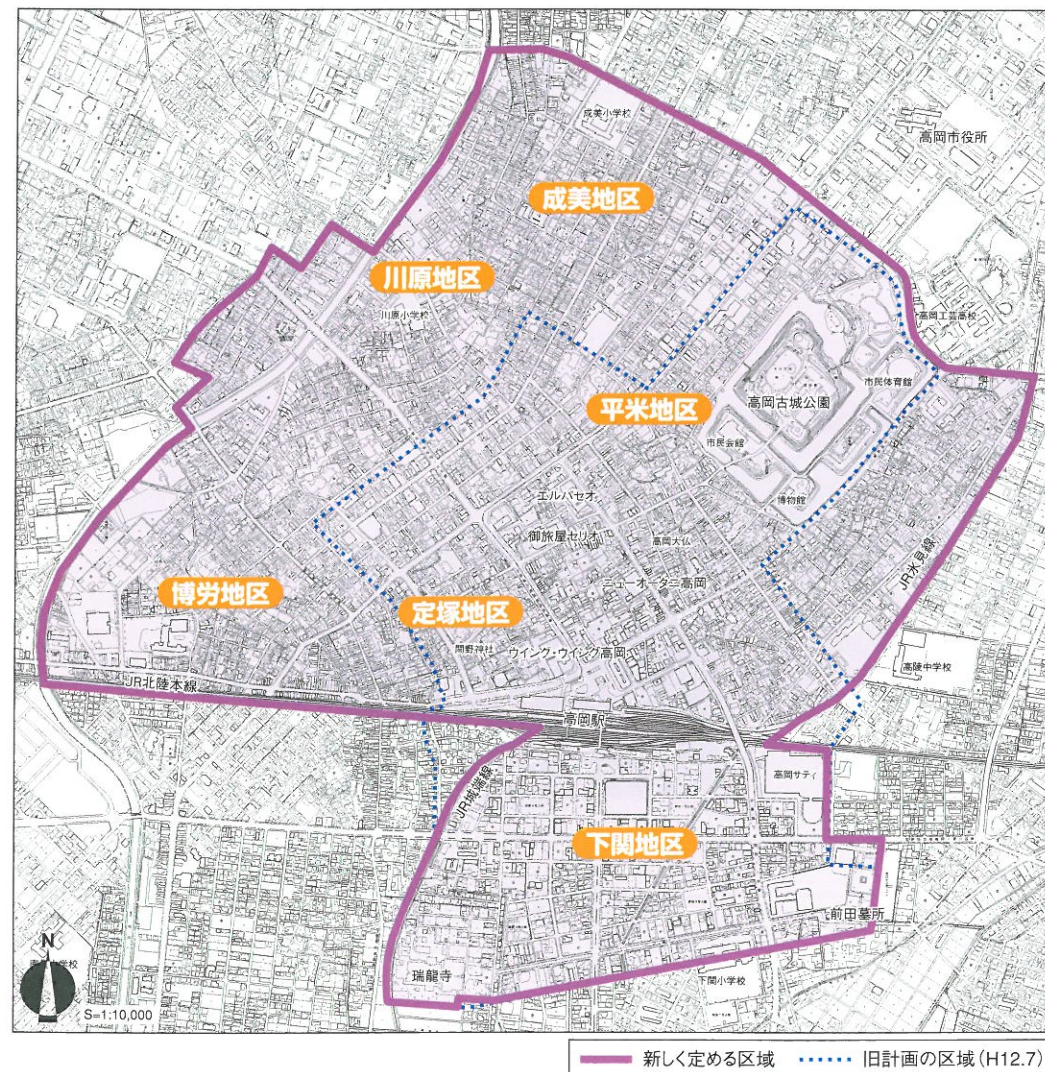
JR高岡駅を中心とする市街地は、富山県西部地区最大の繁華街として、産業や行政の様々な都市機能を担い、「高岡の顔」として発展してきました。



瑞龍寺(国宝)、山町筋(重要伝統的建造物群保存地区)、高岡古城公園(県指定文化財)や高岡御車山祭(重要有形・無形民俗文化財)といった伝統行事など数多くの歴史・文化資産が集積しており、最近では、世界文化遺産登録に向けた活動が活発化しています。

また、市街地再開発事業により、学習・文化交流活動の拠点ウイング・ウイング高岡などの拠点施設が整備されたほか、今後は南北一体化事業をはじめとしたJR高岡駅周辺の一体的整備が行われ、さらに発展していくことが期待されています。

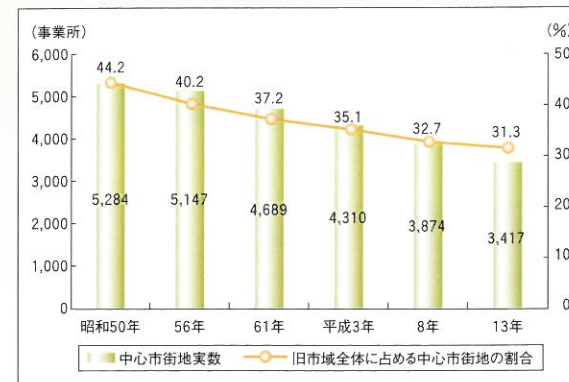
中心市街地区域図(約340ha)



都市機能の
低下

事業所数や従業者数の減少が続ぎ、集積度が低下していけば、「高岡の顔」としての都市機能が失われ、市全体の活力の低下につながります。

事業所数(全業種)の推移



出典：総務省「事業所・企業統計調査」地域メッシュデータ

従業者数(全業種)の推移

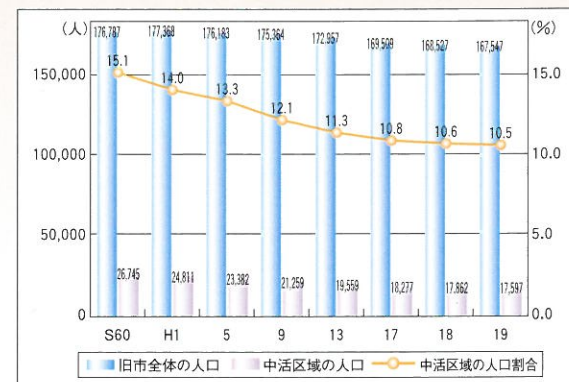


出典：総務省「事業所・企業統計調査」地域メッシュデータ

人口の減少

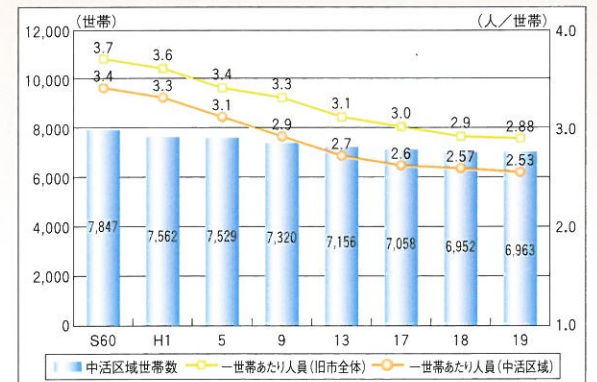
人口や世帯数の減少により、全市(旧高岡市)に占める人口割合が低下しており、今後、一層の空洞化が懸念されます。

人口の推移



出典:住民基本台帳(各年3.31現在)

世帯数の推移

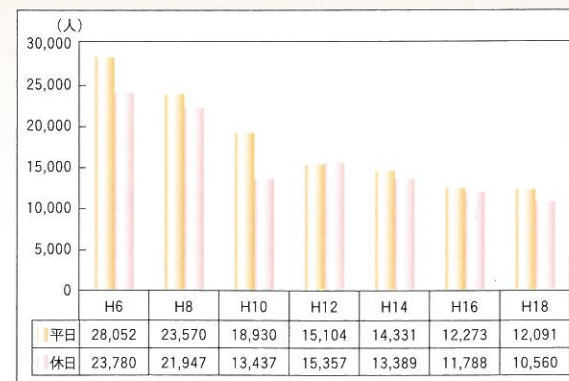


出典:住民基本台帳(各年3.31現在)

にぎわいの喪失

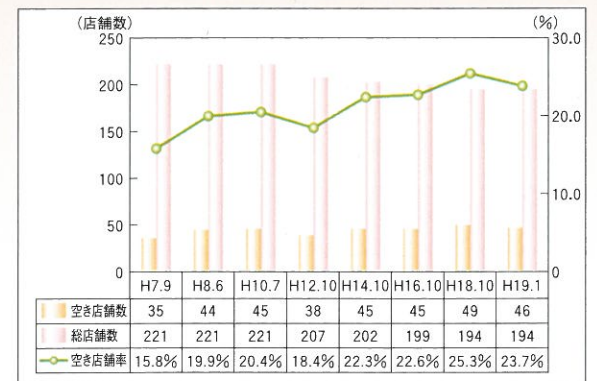
歩行者・自転車通行量が減少し続けているだけでなく、空き店舗率も上昇しており、にぎわいを感じることでないまちは、商業地としての魅力が薄らいでいきます。

中心市街地6地点の歩行者・自転車通行量の推移



出典:高岡市商業観光課「歩行者通行量調査」

中心商店街(4商店街)の空き店舗数・空き店舗率の推移



出典：高岡市商業観光課・末広開発(株)「空き店舗調査」

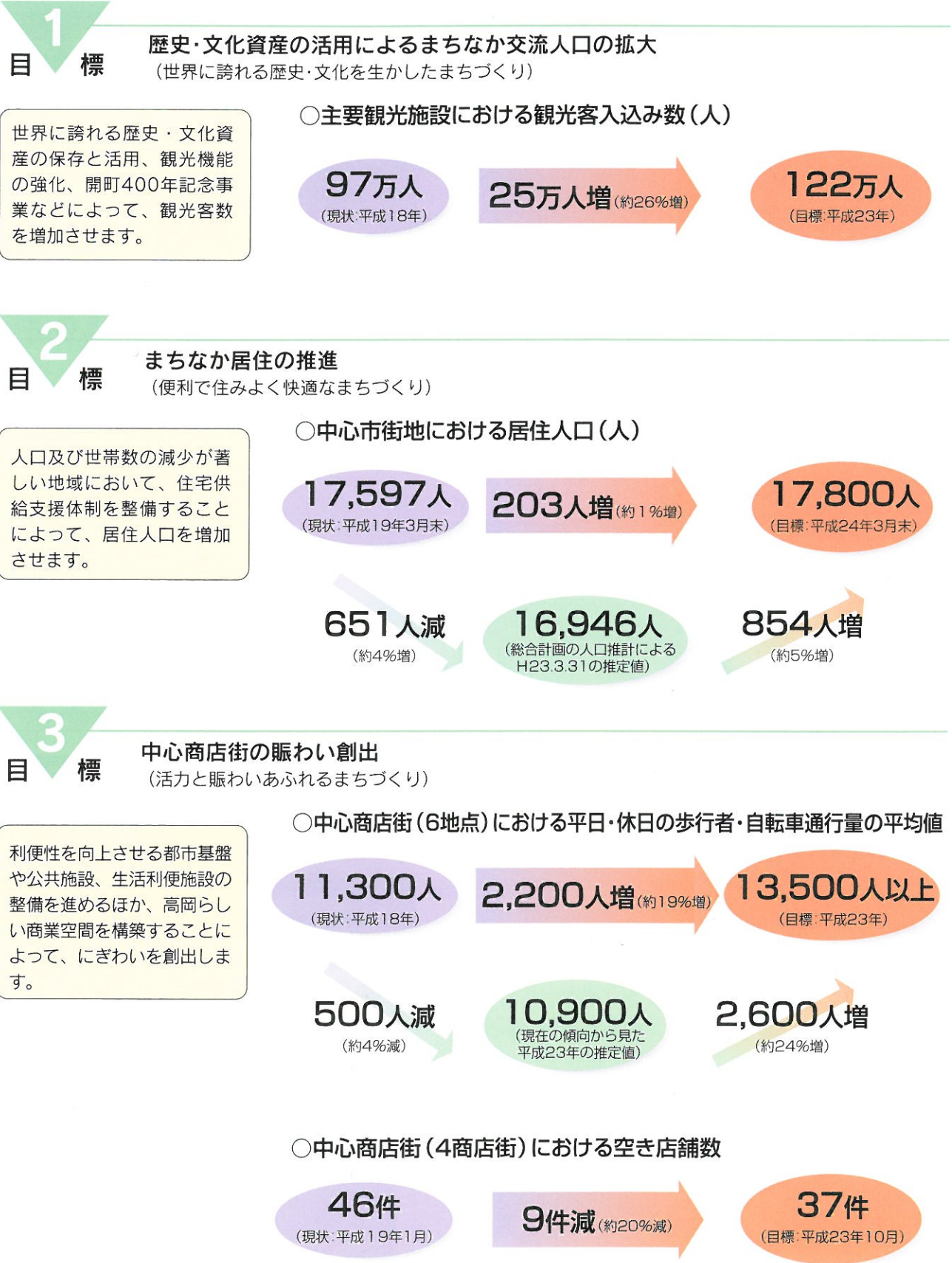
中心市街地の活性化を目指して

富山県で唯一の「都市機能と歴史・文化資産が融合するまち」として、高岡の保有する「歴史・伝統・文化・ものづくり」のイメージを基盤に、都市生活の向上が図られるまちづくりを推進します。



3つの目標

中心市街地活性化の目標として、次の3つを設定しました。
それぞれに数値目標を設定し、定期的にチェックしながら施策・事業の実効性の確保を図っていきます。



中心市街地活性化に向けて 取り組む主な事業

3つの目標を達成するために、行政、市民、事業者、商業関係者や関係団体が一体となって、85の事業に取り組めます。(平成19年11月現在)

金屋町

高岡市鋳物資料館を中心に高岡銅器に関する情報を発信するほか、金屋町の町並みを保全していくための調査を進め、金屋町の景観向上及び観光客の増加に努めます。



山町筋重要伝統的建造物群保存地区

伝統的建造物の修理等へ支援するほか、地区内道路の電線類地中化や道路修景を一体的に図ることにより、山町筋の景観向上及び観光客の増加に努めます。



中心商店街

高岡の「顔」として魅力ある賑わい空間が提供できるよう、開業時や既存店舗のリニューアル等への支援により、魅力ある商空間の形成を支援するほか、「歴史・伝統・文化・ものづくり」をコンセプトとしたうるおい空間やイベントの開催等を促進します。あわせて、昼間人口の増加のため、オフィス誘導を図ることにより、賑わいの創出に努めます。



高岡駅周辺

JR氷見線や万葉線ホームの近接化を行い、駅機能の集約化を図るとともに、北口交通広場、南北自由連絡通路、人工デッキ等を整備し、駅利用者の利便性の向上を図ります。



公共交通機関

万葉線では、LRV車両の導入や(仮称)末広町電停の新設を促進するほか、まちなかでの生活に便利なコミュニティバスの運行を支援します。また、中京圏と高岡市を結ぶ高速バスの運行により来街客の増加が期待されるほか、レンタサイクルの整備等により、まちなかの回遊性の向上に努めます。



高岡古城公園

高岡開町400年記念事業の主会場をはじめ各種イベントによる活用を図るほか、富山県指定史跡としての歴史性の保全・調査を進めるとともに、市民の憩いの場である都市公園としての整備に努めます。



高岡大仏周辺

高岡大仏の保存修理をはじめ、大型バス向けの観光駐車場を整備するほか、坂下町通りの道路修景を一体的に図ることにより、高岡大仏周辺の景観向上及び観光客の増加に努めます。



瑞龍寺・八丁道・前田利長墓所周辺

高岡を代表する観光資源である国宝瑞龍寺の保存とともにライトアップ事業などの誘客事業を促進するほか、前田利長墓所の調査を実施し、国指定史跡を目指すことにより歴史的価値を高め、観光資源としての更なる価値の向上に努めます。



まちなか居住

国の支援事業の活用のほか、市独自の制度により、戸建住宅の新築・取得及び分譲マンションを取得する人、また、賃貸及び分譲マンション等を整備する事業者に対して支援を行い、まちなか居住の促進に努めます。



推進体制

平成18年12月、行政機関、商工会議所、商業者等で構成される「高岡市中心市街地活性化協議会」が設立されました。

今後は、高岡市と同協議会との協働により、高岡市中心市街地活性化基本計画に基づく事業実施や進捗管理、事業効果の検証、事業のスクラップアンドビルドなど、総合的なフォローアップにより中心市街地の活性化を目指します。

高岡市中心市街地活性化協議会

(平成18年12月設立)

【組織構成】

- ・ 会 長：高岡商工会議所会頭
- ・ 副会長：高岡商工会議所副会頭
末広開発㈱代表取締役社長
高岡市副市長
- ・ 委員22名
(商工会議所、行政機関、商業者等)
- ・ 幹事34名
(商工会議所、行政機関、商業者等)
- ・ オブザーバー5名
(関係機関)
- ・ 事務局
末広開発㈱まちづくり事業部

計画(策定)

見直し
再検討

実施

成果
確認

進捗
管理

高岡市役所

【組織構成】

- ・ 高岡市中心市街地活性化基本計画
庁内検討会 (平成18年2月設置)
- ↓
- ・ 高岡市中心市街地活性化基本計画
庁内推進会議
(平成19年4月設置)
- ※庁内各部局による連絡体制整備
- ・ 産業振興部中心市街地活性化推進室
(平成19年4月設置)
- ※基本計画策定及び推進のための担当室
を新設

高岡市中心市街地活性化基本計画について

高岡市では、平成10年に制定された「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律（中心市街地活性化法）」に基づいて、平成12年7月に「高岡市中心市街地活性化基本計画」を策定し、中心市街地活性化に向けた関連施策を実施してきました。

平成18年8月に「中心市街地の活性化に関する法律」が施行されたことを受け、これまでの基本計画を見直し、中心市街地活性化に向けた取り組みを強力に推進するための新たな基本計画を策定しました。（平成19年11月 内閣総理大臣認定）

高岡市 産業振興部 中心市街地活性化推進室

〒933-8601 富山県高岡市広小路7番50号 TEL 0766-20-1591 FAX 0766-20-1496
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/sangyo/0410/index.htm> E-Mail chushin@city.takaoka.lg.jp